



経済の流動性と企業の選択

令和6年5月28日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

経済は変化を得、その流動性は存在する。これらはさらなる未来への変化が存在することを理解すべきである。

これらは次世代という新しい現実への参加であり、企業の資本力という基盤は未来への変化への正しい企業選択を求めるのである。

これら変化を牽引することは理想である。これは企業が優れることにおける現実であるからである。

経済における未来の創造は真実であり、隷属から自立への転換は企業の内実が市場に優れることにおいて可能なのである。

流動性という変化は、その創造性が未来を実現しているからなのである。

これらは新たな可能性という企業の選択であり、これらが未来そのものなのである。

今日変化の時代において、企業の選別が存在することは真実である。これらは企業の独創性が時代という踏み絵を有することなのである。

これらは知的集積産業への転換であり、ソフト資産が富の創出を行うことへの変化なのである。

これらは既存手工業が完全に崩壊し、新たな産業のスタンダードへの転換を明確に行なっていることなのである。

これらがインダストリー4.0やデジタル社会への転換であり、これら企業の自己転換はより優れた現実への転換を明確に実現しているのである。

これらが変化であり、市場においてコアコンピタンスを意図することは、これら現実において自己の構築を求められるのである。